

令和7年度向日市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会要点録

1. 開催日時：令和7年11月14日（金）14時30分～15時30分
2. 開催場所：向日市役所本館3階 第7会議室
3. 出席委員：清家委員長、小林委員、出射委員、橋本委員、太田委員、植田委員、柴田委員
以上7名
※欠 席：上原委員、清水委員、高桑委員
4. 傍 聴 者：0名
5. 議 事
 - (1) 向日市介護保険事業実施状況について
 - (2) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等について
6. 内 容

議事 向日市介護保険事業実施状況について

事務局

- ・資料1を用いて向日市介護保険事業実施状況について概要を説明

委員長

- ・ただいまの説明について、ご意見やご質問等がございましたらお願いします。

委員長

- ・ご意見もないようですので次に移らせていただきます。

事務局

- ・資料2-1、2-2、2-3、2-4を用いて介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等について概要を説明

委員長

- ・ただいまの説明について、ご意見やご質問等がございましたらお願いします。

委員

- ・設問に当たっては国が示す項目に合わせているとのことであるが、質問の追加や削除はできるのか。

事務局

- ・集計されたデータを国に提出するため、必須項目の削除はできません。独自質問として追加することはできます。

委員

- ・資料２－２の（２）あなたの年齢をおしえてくださいですが、６が９０歳～９４歳となっているのに、７が９０歳以上になっている。
これでは、９１歳以上の方がどちらにマルすればいいのか分からないのではないかな。

事務局

- ・７を９５歳以上に訂正します。

委員

- ・資料１の統計や今回行うアンケート調査は、どのようなことに活用するのか。

事務局

- ・資料１の統計につきましては、令和６年度から令和８年度までのこうふくプラン向日で策定しました計画値と令和６年度の実績値の報告であります。
令和６年度から令和８年度までの実績値と今回行うアンケート結果を参考にして、令和９年度から令和１１年度のこうふくプラン向日の策定や介護保険料の設定を進めていく予定をしております。

委員

- ・介護支援員専門員調査票の問３で、あなたの主たる職種（資格）は何ですか。とあるが、介護支援専門員に対する調査で、１１のホームヘルパーについて、前回調査の時には、どれくらいの割合で回答があったのか。

事務局

- ・前回調査において、ホームヘルパーと回答された方が３％おられます。

委員長

- ・来年２月に私が委員を務めている国の会議があり、参考にしたいのですが、今回調査されたアンケート結果が集計されるのはいつごろになるか。

事務局

- ・アンケート集計業務は、来年３月末までの契約期間を考えている。
そのため、アンケート集計の成果物は３月にならないと納品されないと思う。

委員長

- ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の問５地域の活動について、向日市においては地域活動の開催回数においては増加傾向にあるが、参加者数は人数が同じで、メンバーが固定しているのではないかなと思う。

参加したくない方はなぜなのか。の独自の設問を加えてもいいのではないかと思う。

行きたいけれども時間が合わないなど、理由が分からないと今後の施策に繋がらないと思う。

このようなデータは、次の施策に向けて取っていくものであると思うので、設問をあまり増やしていくのはどうかと思うが、少しは加えても良いのではないかと思うので、候補のひとつとしていただければと思います。

- ・在宅介護実態調査について、B票介護者のことについて。の問4に介護者の年齢を聞かれており、20歳未満の選択肢があるが、問7の勤務形態の問は、働いていることが前提になっている。20歳未満で就労されている方は比較的少なく、主に学生であると思われ、実際に介護をしている子もいる。

向日市において、ヤングケアラー問題について、どのように考えておられるのか方針等教えていただければ幸いです。

事務局

- ・ご提案いただいた内容を、アンケート調査に組み込むことは可能であるため、調査項目とする方向で検討させていただきます。

また、ヤングケアラー問題に関わる設問も加えるよう検討させていただきます。

調査項目作成の際、ご相談させていただくことがあると思うので、その際はよろしくお願いします。

委員

- ・ヤングケアラーに関しましては、子ども計画を策定するに当たってアンケートを取りまして、その中には、介護についての設問があります。

ただし、子ども計画については、子育て世帯を対象に調査を行っておりますので、在宅介護実態調査では、高齢者世帯の視点からヤングケアラーの実態把握も兼ねて項目を追加することを検討させていただきたいと思います。

委員長

- ・ありがとうございます。

自治体の高齢者介護の部門においても、ヤングケアラー問題の実態について聞いていますよ。という形を取ると、先駆的になるかなと思っており、ボトムアップでやっていかないと国は変えることは難しいと思うので、先駆的な事例になると良いかなと思います。

委員長

- ・他にご意見もないようですのでこれをもちまして本日の策定委員会を閉会させていただきます。

閉会